



D—72—管調資—No. 20

昭和 46 年 3 月 初 版
昭和 47 年 8 月 改訂版

各国事情のしおり

—— インドネシア編 ——

JICA
108
20
EX
BRARY

1972・8

海外技術協力事業団

国際協力事業団

受入 月日	'87. 4. 22	108
登録 No.	08472	20
		EX

は し が き

本小冊子は、技術協力のために海外に派遣される専門家のオリエンテーション用資料として事業団海外事務所からの調査報告をもとに作成したものである。

本小冊子は、事業団海外事務所の役割（専門家派遣に係る業務の範囲）、専門家に対する要望事項について記すとともに、専門家の日常生活に密着した任国事情、特に衣、食、住、気候、教育、公共施設、治安、対日感情等を重点に作成した。

本小冊子の各項目については、今後も適時修正をおこなってゆくが、本小冊子が同国に赴任される専門家の何らかの参考になれば幸である。

昭和47年8月

JICA LIBRARY



1014315043

海外技術協力事業団

理事長 田付景一

目 次

I	海外技術協力事業団海外事務所について	1
1.	海外事務所の役割	1
2.	専門家に対する要望事項	1
II	任 国 事 情	3
1.	住宅（住宅事情、家賃等、ホテル、什器・備品）	3
2.	食品（食料事情、価格、外食）	4
3.	衣類、日用品（衣料事情、日用品）	7
4.	使用人	7
5.	医療（医療事情、医薬品、健康管理上の注意事項）	8
6.	子弟の教育機関（教育機関、授業料、通学方法）	9
7.	娯楽設備（保養地等、日本人クラブ等）	10
8.	電力	10
9.	交通（交通事情、ハイヤー、自動車購入、運転免許、 ガソリン代）	10
10.	為替（相場、対日送金、滞在費等受取方法）	12
11.	出入国管理（税関検査、ビザ手続き等）	12
12.	便宜供与（種類、カウンターパート、免税特権）	13
13.	通信、運輸（郵便事情、運送）	13
14.	言語（公用語、英語等の普及等、語学学習）	15
15.	気 候	15
16.	治安（一般情勢、夜間外出、緊急時連絡方法）	15
17.	その他（対日感情、新聞・雑誌等、風俗・習慣、 理髪・美容等、買物）	16

Ⅲ 同国に対する我国の技術協力実績	18
Ⅳ 海外事務所等連絡先	26

I 海外技術協力事業団海外事務所について

1. 海外事務所の役割

(1) 赴任当初

- ① 空港出迎え、ホテルの予約、勤務先への案内、住宅契約時の立会、携行機材の引取り斡旋、通訳、車輛雇上げの斡旋。
- ② 私物、アナカン、家財道具の引取りについては業者を紹介。

(2) 赴任中

- ① 専門家とは常時、密接なる連絡を維持し、業務の円滑化を図かる。
海外事務所に提出された業務報告書類は、一部はOTCA本部に、一部は大使館（公使、参事官及び担当書記官）に回付し、後日海外事務所にファイルする。
- ② 専門家勤務先への定期的訪問。
- ③ ビザ更新業務及び各種証明書下付申請手続業務。（場合によっては専門家本人の同行を願う）
- ④ 専門家及び調査団の移動に関する報告をイ側当局に提出する業務。

2. 海外事務所からの専門家に対する要望事項

- ① 服装は、たえず清潔にして、ズボンやハンカチなどにはアイロンをかけておくこと。
- ② 日本人は礼儀正しいと云われているが、その反面、尊大にして粗暴とも評価されるむきがあるので注意されたい。

③ インドネシア人は殆んど回教徒であるから、われわれ日本人の習慣からして、理解に苦しむことがしばしばおきてくるが、大声で、カウンターパートや家の使用人をしからないこと。

④ インドネシア人は通常、午睡をとる習慣があるので、午後5時以前の訪問はなるべくさしひかえること。

⑤ 英語は、ちょっと街から離れると通じない。しかし生半可のインドネシア語の知識では、先方の、独特のペースにはまり込んで振りまわされる。

また、余程の教養あるインドネシア語でなければ高官の前ではしゃべらない方が得策である。

⑥ インドネシア語を習う場合は、上品な言葉を習得するよう心掛けること。

II 任 国 事 情

1. 住 宅

(イ) 住宅事情

① エージェントの有無

独立して不動産屋を営んでいる者は皆無といつてよい。営業許可を必要としないから役人、社員がアルバイトをしている。手数料は家主が負担することになっているが、たいてい手取りの額に上積されているようである。月額の家賃が\$300とすれば、2ケ年契約の場合($\$300 \times 24\text{月}$) $\times 5\% = \$360$ が仲介料となる。悪質なブローカーにかかると10%ぐらい上積される。

(ロ) 家賃等

契約期間は殆んどが一年以上で家賃は一括前払いである。各国の、経済・技術協力機関をはじめとして商社の進出が年々激烈となるに従い、家賃は上昇の一途をたどっている。寝室が3部屋、居間、食堂が各1部屋、それに使用人室が2部屋ぐらいで(30坪~40坪ぐらい)月額400ドル~500ドルの家賃である。勿論、トイレ兼風呂場は使用人とは別になっている。風呂場は、水であるから湯わかしをつけなくてはならない。トイレは水洗であるが、現地人は用便後、紙を使用せず水で洗うので排水パイプが小さく、脱脂綿や紙を流すとつまり易い。

家賃は家主がドル建を主張するが、契約書にはドルとルピアの二本建としないと不利な結果となり易い。

独身者は下宿の方が経済的である。三食付で一部屋150米ドル位である。

赴任時は特別の事情のない限り、单身の方が経済的である。
住宅が決ってから、家族を呼寄せるのが得策である。

(イ) ホテル

	<u>Single</u>	<u>Double</u>
中 級	12～15ドル	20～28ドル
上 級	15～20ドル	25ドル～

(サービス料、税金20%加算)

ホテルの食事は高くつく。

(ロ) 什器・備品

① 家具類は住宅についているのが普通であるが、好みによつて購入することもある。風呂場につける電気ボイラー等は家主の負担にすること。

② 携行を必要とする食器類等

食器類は大低手に入るが、日本式の茶碗、湯のみ、おわん、皿などは電気釜といつしよにもつて来た方がよい。冷蔵庫、扇風機(2基以上)等も日本で買付けた方がよいがエアコンは家の構造によつては取付けられないこともあるので一考を要する。

2. 食 品

(イ) 食料事情

① 塩、砂糖は粗悪である。

バター、チーズ、ハム、ソーセージ等はほとんど輸入品。

② 日本食品の入手状況

醤油、味噌、てんぷら油、サラダ油、日本茶は日本から

送ること。手に入らないことはないが高い。

めん類も日本で購入すること。

③ 水

水は井戸か水道であるが、生水では飲めない。

④ 日本食レストランの有無

三軒ある。(菊川、ゆかり、よし子)

(ロ) 価 格

(1米ドル=414ルビー)

品 名	数 量	金 額
米	1キロ	50~80ルビー
み そ	1キロ	750%
し ょ う 油	2ℓ	1,350ルビー
じ や が い も	1キロ	50%
砂 糖	%	100%
人 じ ん	%	60%
キ ャ ベ ツ	%	40%
き ゆ う り	%	50%
ト マ ト	%	80~100%
み か ん	%	300~350%
た ま ね ぎ	%	350~600%
な が ね ぎ	%	60%
食油(やし油)	ビールビン1本	100%
塩	1袋	25%
白 菜	1キロ	50%
石 油	1.8ℓ	300%
ベ ン ジ ン	1ℓ	30%
卵	1キロ	325~400%

豚 肉	1 キロ	600ルビー
牛 肉	〃	500〃
大 正 え び	〃 (13匹位)	800~1,000〃
ビ - ル	1本(びん別)	115〃
ジョニーウォーカー	赤	1,800〃
〃	黒	3,500〃
たばこ、マスコット	20本入	90〃
化粧石けん	1個	100〃

(外 食)

中級レストラン

チャーハン		180~250ルビー
やきそば		〃
ぎょうざ	1個	20〃
ライス	1皿	50〃
野菜いため	〃	200〃

日本食(日本クラブ食堂)

天ぷら定食		500ルビー
とんかつ定食		〃
さしみ定食		〃
天 井		300〃
かつどん		〃
生ずし		600〃
天ぷらそば		300〃

3. 衣類、日用品

(イ) 衣料事情

① 一般的衣料事情

ワイシャツ、下着類は香港製が多く、ほとんどみな買えるが、日本人の好みにあわないものがあるので、一通り用意しておくこと。

長袖や、うすいセーターは、特に子供には、雨期の場合必要である。

大人でも山岳地方ではジャンパーが必要となる。

② 必要とする衣類

機会は少ないが大使公邸などの夕食会などで婦人は和服を着用をする場合がある。

男子は背広二着とズボン三着程度あればこと足りる。

インドネシアの役所ではネクタイをしなくてもよい。

寝具は、夏掛けを2枚宛ぐらい。

(ロ) 日用品

蚊取り線香は中国製のがある。粗悪であるが一応用はたせる。

4. 使用人

① 職業紹介所

なし。

② 具体的雇用方法

知人の使用人にたのめばすぐ探がしてくれる。

ただし紹介料として200～500ルピーを支払う。

③ 給与月額

アマ(女中)	1,500~1,800ルビー
コック	2,500々
ボーイ	1,500~2,000々
	(これに食費が加わる)
運転手	7,000~10,000々
	(午前7時~午後3時迄 残業手当は1時間50ルビー 以上)

④ 雇用、解雇に際し特に注意すべき事項

解雇する理由が使用人の責任でない場合には給料の1~3ヶ月分を請求される。

5. 医 療

(イ) 医療事情

① 医療施設

大きな手術は日本(内地)の病院に頼らざるを得ない。

② 日本人医師の有無

日本大使館に医務官(内科)が1名いるが原則として診察はしてない。

(ロ) 医薬品

当座のものとして抗生物質が少量あれば足りる。

たとえ赴任時なれるまで日本で使用していた持病特効薬等は持参した方がよい。

(ハ) 健康管理上の注意事項

気候、食物、水、風俗・習慣が日本とまったく違うので赴

任後6ヶ月ぐらいまでは、体に変調を来たすので、健康管理には特に配慮すべきである。

またコレラ、種とう等の予防注射は出発前にしておくにこしたことはないが、ジャカルタ市内、衛生部および空港でもやつてくれる。

6. 子弟の教育機関

(イ) 通常専門家の子弟が利用している教育機関

44年5月よりジャカルタに日本人学校が創立され、現在生徒数は約50人ぐらいで、教師は3人である。

中学部も45年4月より開校された。

入校に必要な書類は前もつて通学していた学校から取寄せておくこと。教科内容は日本とまったく同じで教科書は海外子女教育振興財団で入手できるが、日本人学校でも準備してある。

教師は兼任である。幼稚園も46年1月より開設される予定。インターナショナル・スクールにも通学している子弟がある。

(ロ) 授業料

日本人学校の入学金及び月謝は、それぞれ25米ドルである。この他学校債権として400米ドル必要になる。

(ハ) 通学方法

朝は自宅の車で送り、放課後はスクール・バスで送つてくれる。

7. 娯楽設備

(1) 保養地、ゴルフ、ボーリング、映画等

サムダラ・ビーチ（海水浴）がジャカルタより車で3時間のところにある。

この他メラク・フロリダビーチが2時間の所にあり洋風ホテルが完備されている。

ゴルフ場は、ジャカルタ近郊に四つ、ボゴールに一つ、バンドンに一つ、スラバヤに一つある。

映画館は数多い。

(2) 日本人クラブ・スポーツクラブの有無、料金

45年10月より、日本クラブが開設されてとても便利になった。会費は家族共で月額1,500ルピア。一人の場合1,000ルピア。

8. 電力

電力事情はあまりよくない。

電気製品は殆んど現地調達可能である。特にテレビは現地調達に限る。日本で使用している製品でも変圧器（当地で入手可能）を使用することによつて十分間に合う。

110 Volt、50サイクル

ジャカルタ以外の地区では220ボルトがふえつゝある。

9. 交通

(1) 交通事情

① 一般交通機関

バスやベチャ（三輪自転車）が主要な交通機関であるが、

自家用車がないと、公私ともに不便である。

タクシーは最近走りはじめたが乗りすと再び捨てることは難しい。

② 道路事情

道路舗装状況はかなりよいが、下水が不備のためジャカルタの中心部でも、大雨の場合冠水してしまう。

③ 特に注意すべき交通法規

左側通行である。駐車料は10～25ルピアであるが、大体駐車場がないので道路に駐車することになる。

④ 交通事故の取扱い

古い車やベチャが新しい外車や日本車の間を右往左往しているので事故が多い。

人身事故の場合、ただちに現場から警察に逃げこまないでリンチにあう。

保険制度はととのっている。

(ロ) ハイヤーの利用、料金

時間制で1時間400～600ルピアであるが最低料金として2時間の料金が請求される。

(ハ) 自動車の購入

① 免税輸入特権

車の輸入は専門家に対しては免税となっている。

② 帰国時の売却方法、課税

帰国時の売却は容易である。課税されるが買手が一般に負担している。

(二) 運転免許

① 国際免許証の有効性

国際免許証は一年間有効であるが、それ以降は当地の免許証を取得しなければならない。(5年間有効)

② 免許取得

取得は容易である。

(四) ガソリン代

1ℓ 35～40ルピア

1.0. 為 替

(イ) 相 場

1米ドル=414ルピア

今のところ安定している。

(ロ) 対日送金

対日送金は、東京銀行ジャカルタ支店および東銀ニューヨーク信託会社で取扱ってくれる。

(ハ) 滞在費等の受取方法

東京銀行ジャカルタ支店。

1.1. 出入国管理

(イ) 税関検査

① 一般事情

かなりうるさく、人手不足のため時間がかかる。

なお最近空港で簡単に通関してやるからといって金品を要求する悪質なポーターがいるので注意すること。

② 持込禁止品（国際的禁止品以外）

ピストル、火薬、刃物は持込禁止である。

③ 持出禁止品

帰国時の荷物搬出も事前に当局より認可証を取得した方がよい。

(ロ) 外人登録ビザの更新手続き

外人登録やビザ更新は必要であり、手続は海外事務所を通じて行っている。

1.2. 便宜供与

(イ) 便宜供与の種類

住宅の提供および住宅手当等の現金支給はない。

(ロ) カウンターパート、通訳

カウンターパートは原則として日本語又は英語を解する者を配置してくれる。

(ハ) 免税特権

身廻品、車、冷蔵庫、エアコン、食料品などに適用される。ただし免税特権を利用して購入した場合は引取までに3ヶ月程かかる。たゞ実際は税金（裏金）さえ支払えば2週間くらいで引取れる。

1.3. 通信、運輸

(イ) 郵便事情

① 安全性

あまりよくない。日本向けのメールが往々にして到着しない場合がある。

- ② 手紙、電報、電話の日本～現地間の所要時間
- | | |
|----------------------|-----|
| 手紙 (Air mail) | 5日位 |
| 電報 | 1日 |
| 電話 (料金1分間約 1,030ルピア) | 10分 |
- ③ 電報・電話サービス
- ジャカルタ～バンドン 即時

ク ~ (ボゴール
スラバヤ) 2～3時間

(ロ) 運 送

- ① 陸送・海送業者の有無、料金

陸上、海上等の専門業者がいて全部やってくれる。料金は容積、重量などによつて異なるが、車の場合はジャカルタ港倉庫より自宅までの配達経費は70,000ルピアぐらいである。家財はトン当り40,000～50,000ルピア。

- ② 家財等送付上の手続、宛名、注意事項

家財具等を輸送する場合は、例えば、受取人をMr. A.とすれば、

Mr. A.

OTCA

C/O EMBASSY OF JAPAN

24 DJALAN THAMRIN DJAKARTA

としていたゞきたい。特にOTCAと明記せぬと、大使館に出入する人が数多いので宙に迷うことがある。

14. 言 語

(イ) 公用語、英語その他第一外国語の普及度

公用語は、インドネシア語であるが、各地域によつてそれぞれ異なつた言語を使用している。

外国語は英語、オランダ語が主要な位置をしめているが都市に限られている。役人はこれらの外国語ができぬと出世できないようである。

(ロ) 現地語事前学習の必要性

派遣前にインドネシア語及び英語の研修は是非うけられたい。

(ハ) 語学学習の施設等

最近インドネシア語講座が日本クラブで企画されているので、間もなく実施されるものと思われる。しかし、個人レッスンも受けたほうがよい。

15. 気 候

年間を通じて平均温度は28℃であるが、10月から3月頃までが雨期となり、かなり涼しい。もつとも雨期でも晴れば真夏の太陽が照りつける。

16. 治 安

(イ) 一般情勢

政情は安定している。

(ロ) 夜間外出上の注意

夜間の独りあるきはさけたほうがよい。ベチャがたむろしている夜店附近は、かつばらいが多い。たとえ、時計などと

られても無抵抗がよい。抵抗すると危険である。

(イ) 緊急時における大使館又は駐在員との連絡方法、集合場所及び要領

緊急時における夜間連絡先は下記の通り

岩本利彦一等書記官（自宅）

5 Djl. Birah I, Kebajoran Baru

電話 74970番

非常事態が発生した場合には大使館、総領事館当局の指示に従い、またおたがいに密接なる連絡を保つて行動されたい。

17. その他

(1) 対日感情

対日感情はたいへん良好である。インドネシア人は、内向的性質であり、面とむきあつては、他人の批判はしない。給料の安いアマでも、乞食が門前にたつと、5～10ルピアの金を与える。

我々日本人は、乞食が来ると「なまけ者」という観念が先にでて来てすげなく断わってしまう。たゞし一回やるとしはしばやってくる。

持てる者は持てない者にあたえ、また持てない者は持てる者より取るというのが信条らしい。インドネシア人は子供を愛する。（他人の子供でも）この点は、日本人がまねるべき美点である。

(2) 新聞・雑誌等

① 日本よりの購読方法、購読料

新聞、雑誌の購読はエイジェントがあつてことかゝない。

日本の日刊新聞(1ヶ月)	10,000ルピア
文芸春秋(月刊)	850 〃
女性自身(週刊)	615 〃

(イ) 風俗・習慣

① チ ッ プ

チップの件はいろいろ頭をなやます。

ホテルのボーイなどは50～100ルピアが普通である。

② 専門家としての体面

専門家としての体面を保つにはアイロンのかゝったワイシャツ、ズボン、ハンカチや手入れの行届いた靴を身につけるべきである。深酒は慎むこと。

レストラン等で大声をあげているのは日本人が多い。最近、各ゴルフ場で英文の注意事項が貼られだしてきたが、英語を母国語とする英米人等を直接対象にしているのではないように感じられる。

(ロ) 理髪店、美容院等

散 髪 200～500ルピア

美容院 内地より高い

洗 濯 例 ズボン1着で480ルピア

(Hotel Indonesia の場合)

(ハ) 買 物

買物は店によつて値段が違うが大体3～4割ぐらい外人に対しては高くなっている。大きな店舗では値引きしないところがある。

Ⅲ 同国に対する我国の技術協力実績

昭和47年3月31日現在

区分 形態	農 水 産	建 設	鉄 工 業	運 輸	通 信	厚 生	行 政	そ の 他	累 計 (人)	経 費	
										(千円)	(千米ドル)
研修員受入	402	74	330	192	105	182	201	277	1,763	479,322	1,331
専門家派遣	198	113	146	46	18	90	7	27	645	432,582	1,202
農 業 協 力	名 称		内 容				期 間		人	246,732	1,259
	西部ジャワ食糧緊急増産プロジェクト協力		ボゴール・ムアラ試験地における優良種子生産、検査および普及計画、スカマンディ Sang Hyang Seri 国営農場とパッサルミング中央農研農機具部における機械化訓練計画ならびにチャンジュールのチヘア農場における総合的農業改善計画に対する協力				43. 5 47. 3		36		
			機材供与								
農業研究協力		わが国熱帯農業研究の成果を現地に応用するための調査							3	93,236	363
		機材供与								(33,192)	(92)

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千メートル)
農 業		予 備 調 査	44. 9 44. 10	3		
		実 施 設 計 調 査	45. 2 45. 3			
協 力	タジム地区農業開 発調査	タジム地区に150ha のパイロットファームを 設置するための協力 予 備 調 査 実 施 設 計 調 査	44. 10 44. 11 45. 2 45. 3	25	32,224	90
開 発 技 術 協 力	東部ジャワ州とう もろこし開発協力	とうもろこしの生産増大 および輸出振興に必要な 技術協力の具体的方策樹 立計画への協力 機 材 供 与 実 施 調 査 巡 回 指 導 専 門 家 派 遣	44. 11 42. 12 43. 10 43. 11 45. 11 46. 1 43. 4	13 3 3 7	188,521 (93,773)	524 (260)
	とうもろこし開発 基礎調査	中部ジャワ、南スラベシ ランボン各省における とうもろこしの事情調査 基 礎 調 査	45. 11 45. 12 47. 3	14	109,050	325

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
開 発 調 査	カリマンタン森林 開発に伴う港湾建 設計画調査	東カリマンタン地区のラ ワン材資源開発に伴う積 出港の建設計画調査	35. 7 } 35. 9	5	5,476	15
	ジャカルタ市上水 道整備計画調査	ジャカルタ市上水道施設 は不完全なもので全人口 の $\frac{1}{2}$ の給水をしているに 過ぎず、又水不足である 市の人口増加に合致した 拡張計画を作成するため の調査	38.3. 1 } 38.3.31	6	4,304	12
	ラロナ河電源開発 計画調査	ラロナ河水系を調査し、 特に雨期の流域内の氾濫 状態流況の観察、スラウ ェシ島の電力供給等の調 査	39. 3 } 39. 4	3	2,564	7
	ボンチャナック橋 架架設計画調査	ボンチャナック市を流れ る二つの河川に橋がない ため同地域の開発にとっ て重大なネックとなっ ているためこの河の架橋計 画に関する調査	40. 1 } 40. 2	5	3,343	9
	とうもろこし開発 計画調査	東部ジャワ及び南スマト ラのとうもろこし増産開 発計画に対し乾燥方法、 貯蔵施設、輸送等につい ての調査	42.3. 7 } 42.3.28	5	2,481	7
	ピトン港改善及び スラウェシ道路修 復計画調査	港湾全体計画立案のため の調査、自然条件 道路全体計画立案	42. 9 } 42. 10	9	10,642	30

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
開 発 調 査	東南アジア地域内 電気通信網整備計 画調査 台湾、フィリピン タイ、ラオス、マレ ーシア、ヴェトナム	当該7カ国相互間の通信 計画基本構想樹立のため の調査	42. 10 } 42. 11	6	4,851	14
	スマトラハイウエ ー建設計画調査	同島の北端Banda- Atjehから南端 Pandjang迄2,400 Kmに亘る幹線道路建設を 目標に調査団を派遣	41. 8 } 41. 10	7	3,607	10
	電気事業開発拡充 基本計画基礎調査	電気事業の再建基本計画 作成のため、諸問題を調 査、検討し、当面の短期 計画を作成した	43. 12 } 44. 3	5	8,304	23
	紙パルプ工業工業 開発拡充計画調査	プアミヤンタル工場等の 既存の製紙工場を含めて 今後のインドネシア製紙 工業の開発拡充の可能性 について技術、経済、経 営及び行政面からの実施 調査	43. 10 } 43. 11	3	2,731	8
	東南アジア6カ国 鉄鋼業開発拡充調 査 台湾、マレーシア フィリピン、タイ シンガポール	当該国に調和のとれた鉄 鋼業を建設するための調 査	43. 6 } 43. 7	5	12,082	34

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
開 発 調 査	電気事業開発拡充 基本計画長期基礎 調査	電力公社(PLN)の電力 供給地域および将来の供 給地域を調査し長期的視 野に立った経営上の問題 点を分析調査	44. 4 }	5	10,116	28
	バリト河流域開発 計画調査	バリト河流域開発計画策 定に必要な基礎調査計画 を立案するための予備調 査	45. 3 }	6	5,213	14
			45. 4 }			
			45. 9 }	15	23,965	67
			45. 10			
	紙パルプ工業開発 計画調査	紙パルプ工業開発基本計 画に関する経済、産業、 資源等の現状調査および 将来計画に対する勧告の ための調査	45. 6 }	8	13,533	38
	漁業振興計画調査	サバノ、クマダリ、ブノ アおよびクバンクにおけ る漁業振興計画に関する フィージビリティ調査	45. 7 }	6	15,661	43
45. 9						
資源開発協力基礎 調査	スラウェン島中部約15,000 km ² の地域の鉱物資源賦 存の可能性調査	45. 9 }		15,2079	422	
ウラール河浚渫工 事計画調査	北スマトラ州ウラール河 の洪水による水害防止の ため河口部の堆積土砂の 浚渫工事計画のためのフ ィージビリティ調査	45. 9 }	6	16,173	45	
		45. 12				

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千メートル)
開 発 調 査	マラッカ海峡水路 調査 シンガポール マレーシア	マラッカ・シンガポール 海峡において深吃水船舶 の航行安全を確保するた め危険区域の水深、潮流 に関して水路調査を実施 し海図を作成	45. 9 } 47. 3	21	78,291	219
	繊維産業基本計画 調査	繊維産業全般につき生産 供給の実態調査、繊維需 要の予測をおこないマス タープランの作成	46. 2 } 46. 3	3	25,150	72
	鉱工業開発計画基 礎調査	① チラチャップ・ジョージ ジャカルタ間砂鉄開発 ② スラバヤルにおける 砂糖工場拡張 ③ ジャカルタ、スラバヤ、 チラチャップ、メダン 工業 団地計画の策定 の三プロジェクトに関す るフィージビリティ調査	46. 3	8	10,940	30
	スラウェシ島資源 開発協力基礎調査	スラウェシ島の鉱物賦存 の可能性を確認し地質調 査及び地形図化を行う	46. 11 } 46. 12	19	65,495	18
	バリト河流域地形 図作成事業調査	中央、南カリマンタン両 州を流れるバリト河流域 総合開発マスタープラン 策定のための同流域面積 6万平方キロのうち6千 平方キロの航空写真撮影	46. 11 } 46. 12	6	5,349	15

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
開 発 計 画	ブラントス河水資源開発計画調査	ブラントス河の総合開発計画策定のための水文・気象等を主体とした基礎資料を収集、調査し低高水流量配分計画をつくる	46. 8 } 7 46. 11		30,514	87
	東部ジャワ電力計画調査	1972年～1985年に至る電力長期計画の策定に基づく現在の電力施設の調査、電力需要の想定、電源開発計画、送電線計画をつくる	46. 8 } 5 46. 11		24,614	70
	スラバヤ河改修計画調査	ブラントス河の分流スラバヤ河の改修とこれに関連する用水内水排除等に関する計画の策定	46. 12 } 13 47. 1		34,263	98
	経済開発基礎計画調査	1974年から開始される第二次5ヶ年計画の策定のうち (1) マクロモデルによる経済予測 (2) 製造工業品輸出の可能性の検討 (3) 輸出市場としての日本市場の基礎的な分析調査	47. 2 } 6 47. 4 47. 8 }		9,117	26
	内航船舶調査	海運産業の総合的計画の樹立にともない今後の計画の策定等の基礎となる現有船舶についての基礎的なデータの把握	47. 8 } 4 46.7. 4		8,060	23

	名 称	内 容	期 間	団員数	(千円)	(千米ドル)
	開発計画	ボマラ地区ニッケル開発計画調査	スラウェン島ボマラ地区における低品位ニッケル製錬計画に関しその接鉱計画、製錬計画さらに計画の経済性の検討	47. 2 47. 3	6	6,075
	機 材 名	供与先機関	年 度	数 量	(千円)	(千米ドル)
	医療関係器具 野ねずみ駆除剤 鋳造用機械	スリウジャ大学 農 林 省 メラウケ国営会社鋳造センター	39 40 45	2 式 5 トン	2,766 1,760 1,871	8 5 5
機 材 供 与	歯科器材	西部ジャワ心臓研究所	42		3,751	10
	分光光度計、発電機	"	43		4,1727	116
	胸部外科、心臓外科機材	インドネシア大学、インドネシア心臓研究所	43		7,513	21
	医療機材	マルタ州医務局	43		4,325	12
	心臓外科用器材	インドネシア大学	44		12,247	34
	医療機材、二葉子心音計等	西ジャワ中央病院	44		14,011	39
	口腔外科用機材	バジャジャラン大学	44		5,090	14
	医療機材、発電機等	マルク州医務局	44		22,201	62
	家族計画指導用セット等	家族計画協力	44		7,145	20
	アिकासピロメーター等	ジャカルタ中央病院	45		4,345	12
	ガストロファイバー	西ジャワ中央病院	45		1,620	5
	スコープ等					
	口腔外科手術機械	バジャジャラン大学	45		355	1
	薬 品 類	家族計画	45		13,483	37
	鋳造用機材	サバングネラウケ国営会社	46		134	
地質調査用機材	地質調査所	46		4,019		

IV 海外事務所等連絡先

大使館

住所 Embassy of Japan,
24, Djalan Thamrin,
Djakarta, INDONESIA

電話 50061~50065番

在スラバヤ領事館

住所 Consulate of Japan,
Djalan Sumatra 93,
Surabaja, INDONESIA

電話 Darmo 8036番

在メダン領事館

住所 Consulate of Japan,
No. 449 Djalan Kapitan Pattimura,
Medan, Sumatra, INDONESIA

電話 25360, 20951番

海外事務所

住所 同大使館

海外事務所長自宅

住所 Djakarta Office,
Djl. Tjikatomas 11 No. 35,
Kebajoran, Djakarta, INDONESIA

電話 71773番

